

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は1年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、18名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】



虐待防止のために あらゆる対策を講じて!

綿貫 伸子 (公明党)



その他のテーマ

- ▶ 児童虐待のリスクを早期発見
- ▶ 子どもの人権を守る
- ▶ マイナンバー制度と利便性

◆母子健康手帳の交付を相談支援の機会に

虐待の背景には、母親が、妊娠期から一人で悩みを抱えていたり、産前産後の心身の不調などがある。手帳の交付に保健師や助産師が携わり、相談支援を行うことは、大変に重要と考えるが見解は。

長寿健康部長 妊婦の身体面の負担軽減や利便性などを考慮し、市民課や地区センターなどで手帳の交付を行っているが、今後、手帳の交付時にアンケートを実施し、保健師などによる妊娠期からの相談支援につなげていく。

◆虐待を防ぐために

リスク要因を抱える家庭を早期に発見し、保健、福祉、教育の連携のもと、継続的な支援を行

うべきと考えるが見解は。

福祉こども部長 早期発見のため、総合子育て支援センターなどでのスタッフとの会話や、乳幼児健診時の面談での聴き取りなどが大変有効である。早期に発見し、保健、福祉、教育などの関係部署へつなげ、虐待に至る前にリスクの要因を把握し摘み取ることができるよう継続的に支援を行う。



母子健康手帳と
QRコードホルダー



誰もが安心できる 介護サービスを

大沢 えみ子 (日本共産党)



その他のテーマ

- ▶ 介護保険総合事業への準備
- ▶ 高齢者宅へのごみの戸別収集
- ▶ 困窮者支援と介護保険の連携

◆介護保険

29年度から要支援1・2の方のヘルパー派遣とデイサービスが総合事業に移行する。サービスから外れる人が出ない対策の準備は。

長寿健康部長 1次予防、2次予防の区分が廃止されるので、2次予防事業対象者限定の元気アップ教室ちゃきちゃき倶楽部は終了の見込みだが、引き続き対象者を広げた短期集中通所型サービスCの実施を検討している。総合事業の移行に向け、1次、2次の区別のない一般介護予防事業として、地域で無理なく継続可能な仕組みづくりに取り組んでいく。

◆生活支援

高齢者宅へのごみの戸別収集は新規での利用

が受けられなくなっている。高齢者生活支援の観点から事業を充実すべきだが、今後の対応は。
市長 現在の戸別収集は直営で、人的資源などに課題がある。家事支援などの福祉サービスの利用や地域での協力体制などを考慮しながら、委託による有料化なども選択肢の一つとして検討していく。

29年度時点での総合事業の実施見込み

- 【ヘルパー派遣】
- ① 現行相当サービス…20か所
 - ② A型(無資格者による生活支援)…5か所
 - ③ B型(住民主体のボランティア)…未定
- 【デイサービス】
- ① 現行相当サービス…30か所
 - ② A型(NPOなど)…7か所
 - ③ B型(市民ボランティア)…未定
- * C型(医療職による短期型)…1か所(整備目標)



東中の跡利用は 地域住民の意向を反映すべき

金子 広和 (創造)



その他のテーマ

- ▶ 中学校統廃合
- ▶ 東中と狭山台中、中央中
- ▶ 狭山市の人口と産業

◆東中の跡利用は

28年3月で東中は廃校となるが、跡利用は、地域住民の意向が反映される施設となるのか。

市長 市の活性化に資する活用を想定し、具体的な方法は今後の検討課題である。跡利用計画の策定は地域の意見も伺いながら検討していくが、全市的な見地からの検討も必要である。



東中に掲げられた懸垂幕

◆狭山に活力を取り戻すには

経済産業省の『ふるさと名物応援宣言』事業など支援策を積極的に活用すべきと思うが、狭山のまちと産業に活力をどう取り戻すのか。

市長 活力を取り戻すには、産業活性化と雇用創出とともに、新たな企業の誘致と、市内企業の発展が必要と考える。そのためには、ふるさと名物応援宣言をはじめ、国や県との交流を深め、情報収集や補助金の活用、先進事例の研究や市内企業者との協働を進めるほか、市民の生活、文化や観光など多様な事業の推進に取り組みたい。こうした観点から、来年度予算の中にはふるさと納税の返礼品なども盛り込んで、市内の事業者にも積極的に制度を活用してもらい、新商品などの開発を促している。



安全、安心な 街づくりのために

千葉 良秋 (創政会)



その他のテーマ

- ▶ 車両の相互通行の確保
- ▶ 地震被害想定の見直し
- ▶ 28年度市内防犯灯のLED化

◆通学路の安全確保

継続的な通学路の安全確保に向けてPDCAサイクルに基づく対策の検討、実施、効果把握、改善、公表が行われているか。

学校教育部長 通学路点検で指摘された危険箇所は、改善対策を講じて再点検、問題点の対策に努める。通学路安全マップなどは、危険箇所情報を加え更新し、安全が確保されれば危険箇所から外している。マップの配布を各校に指示、ホームページにも掲載し、関心を喚起している。

◆空家対策

特定空家の現地調査と指導、勧告の推進に向けた取り組みは。(特定空家は、居住がなく防犯上、景観上や生活環境保全上放置できない家屋)

環境経済部長 戸建て住宅に調査を実施、空き家と思われる家が500戸あった。3戸に措置を求め、うち2戸は改善措置がとられた。調査結果と水道の使用を突合、長期未使用の家屋の二次調査を行い、管理不全の空き家は、特別措置法に基づき対処するが、特定空家の基準、勧告の手続など、必要な事項を定める事務を進めている。



空き家問題の解決を

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方は、FAXまたは郵送でお届けします。議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313